

# みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2001/12/15 Vol. 84 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

## 印西市議会/平成 13 年第 4 回定例会報告 ( 1 )

いつもお世話になっております。印西市議会 ( 12 月定例会 ) は、12 月 5 日 水 から 21 日 金 までの 17 日間の会期で開会中です。私は、開会初日に「まちづくり研究会 代表 松本隆志氏」を代表して、100 分間の代表質問を行いました。今回は、私からの質問と、執行部からの答弁をお伝えして行きたいと思います。

12/5 ( 水曜日 ) に、一般質問に立ちました。

### 3 . 牧の原駅圏の現状と将来に関して

( 1 ) 南口の商業施設誘致について

( 2 ) 「空地」の現状と将来について

維持管理が充分でないように感ずるが、責任をもった維持管理はできないか。

公団、企業庁はこの空地に関してどのような将来像をもち、今後の実現に向い、どのような活動を行ってきたか。また、具体的なデータはあるのか。

( 3 ) 夜間通行するのに不安を覚える住民が多くいるのが現状である。印西市では住民の不安解消のためにどのような施策をもち、それはいつ頃実行されるのか。

#### 回答 / 市長

( 1 ) 牧の原南側の商業施設誘致の件につきましては、地元市民の皆様や議員の皆様より長い間、ご心配をいただいているところですが、11 月 20 日に、都市基盤整備公団の千葉ニュータウン事業本部長とお会いした折にも、この問題についての状況をお尋ねしたところ「鋭意、立地にむけて努力しているので、時間をいただきたい」とのことでした。市といたしましても、この企業誘致は、ニュータウン全体の活性化につながるものと考えておりますので、引き続き、新住事業者に働きかけをしまいたいと考えております。

( 2 ) 「空地」の現状と将来について、責任をもった維持管理はできないか。についてお答え致します。現在、空地の維持管理につきまして、周辺に鉄線柵を設置する等、不法進入を防止するほか、除草についても年 2 回の頻度で実施しております。また、巡回・調査点検を適宜行っており、管理上問題が発見された場合には即座に対応できるような管理体制をとっていると聞いております。市としましては、これからも地元市民に不安を与えないような管理体制の徹底を求めて参りたいと考えております。(ぐんじ注/この部分の回答については、牧の原駅だけでなく、NT 中央駅周辺の空地についても対象としています。) 次に、公団、企業庁はこの空地に関してどのような将来像をもち、今後の実現に向い、どのような活動を行ってきたか。また、具体的なデータはあるのか。についてお答え致します。空地だけでなく、印西牧の原駅周辺については、新都市ゾーンの北総副次核として多機能型の市街地形成を促進していくという市の基本構想や基本計画との整合性を図りながら、千葉ニュータウン計画に基づいて、整備が進められてきました。また、センター用地や特定業務用地への企業の誘致についても、施設用地情報誌の発行や、民間事業者見学会を実施するなど、新住事業者として鋭意努力しているということですが、現状としてはこれらの用地が空地となっております。そして、新住事業者は、これらの実施されてきた誘致等の活動に関するデータについて、当然もっているものと考えております。この印西牧の原駅周辺については、今年度から試行された市の基本構想の中でも、引き続き北総副次核として、また周辺自然環境と共生する「環境共生都市」としても位置付けをしておりますので、企業等の誘致については、これからも新住事業者や関係機関に働きかけをしまいたいと考えております。

(3)「市は夜間通行する住民の不安解消のためにどのような施策をもち、それはいつ頃実行されるのか。」についてお答え致します。

現在、市といたしましては、市内全域を対象に、防犯灯の設置基準や管理区分等につきましての見直しを進めておるところでございます。また、管理体制につきましては、現状として、整備はされているものの場所によっては、街路樹の枝が防犯灯など夜間照明の照度を落す原因となっておるところもございますことから、これらにつきましては、状況や必要性を考慮した上で、カバー等の器具交換や樹木の枝打ち、最終的には伐採という方法で対応して参りたいと考えております。尚、施設整備や管理体制と合わせ、市民一人ひとりが自己防衛意識をもって対応していただくことが何よりも重要ではありますが、地域における防犯活動も重要な対策の一つであると考えております。これは、行政のみの活動ではなく、地域と警察や防犯組合等の関係機関、そして市が一体となった活動の展開が、より効果的であり、意義のある対応であると考えますことから、防犯組合や自治会など地域団体との連携を図った事業の展開につきまして検討を進めて参りたいと考えております。

解説 どの回答も、いつも同じような回答であるのが、現状です。しかし、私は現状に甘んじているつもりはありません。これからも議会のたびに、「**牧の原地区の将来**」を市や公団、企業庁に問い、この街の将来を考えていきたいと思っております。確かに「市ができること」は限られているかもしれませんが、しかし、皆様の声を届けていくことは街づくりにおいても、非常に重要であると考えています。私は今後も、牧の原の居住者が快適に、安全にこの街で暮らせるように努力をして参りたいと考えております。多くの皆様からいろいろな要望をお聞きしております。駅前の放置自転車を何とかして欲しい。夜間の違法駐車 of 自動車を取り締まって欲しい。駅前にゴミが散乱していて見苦しい。等々。市役所や警察、そして皆様と一緒に考えて行きたいと思っております。

防犯等、街灯に関しては、前回の9月議会でもとりあげました。その際に、「犯罪が起きる可能性がある」と言っていたにもかかわらず、対策がとられず、結局、残念ながら犯罪が起きていることを再質問でとりあげ、早期に対策をとっていただくよう要望しました。印西市内には、もちろん牧の原駅周辺よりも暗い場所がありますが、私は、「防犯灯を設置することにより、どのくらいの方が恩恵を受ける事ができるのかを十分に考える必要があるのではないか」ということを訴えました。

## 揺れる印西市

印西市は「貧乏」であるとの話しは良く聞かれます。しかし、果たしてこの話しは本当でしょうか？ 印西市内には、以前よりNT中央地区に大手企業が進出し、またニュータウン事業により入居してきた新住民も税金を払っています。これだけを考えれば、他の自治体と比べて財政事情が悪いとはいいきれません。なぜ、貧乏だといわれるのか？それは、勿論、印西市でニュータウン事業の実施をする際に、学校を始めとする、いわゆる「はこもの」をつくった際の「借金」が原因ではないでしょうか。確かに「将来債務比率」等は高い数値を示し、将来、何年にもわたり、借金を返していかななくてはなりません。数字上はそのとおりです。しかし、実はここに一つの約束があります。それは、千葉ニュータウンをつくる際には「地元迷惑はかけない。」という約束です。その際に協定がつけられ、「作った建物の建設にかかった費用は公団や企業庁が負担する」という文書があります。簡単にいえば、印西市は費用をほとんど負担せず、建物の取得ができるというものです。

この約束 協定 を公団・企業庁が守ってくれるかぎり、印西市の財政は安定し、「将来債務比率」が高かろうと、借金が多かろうと、問題はありません。しかし、**2002年、その約束 協定 が反古にされようとしています。**どうなるのか？ - 改めてご報告します。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご批判、ご意見もお待ちいたします。よろしく願い申し上げます。 ぐんじとしのり